

「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」

ミニ研究会 会員募集

1. 趣 旨

経年化、老朽化が進行する社会インフラを適切に維持管理し長期的に供用していくことが、安全・安心な国民生活を担保するために不可欠な課題となってきました。本研究会では、橋梁、ライフライン（水道、ガス）、港湾施設などのインフラ溶接構造物の点検、補修補強を含めた維持管理のための各種評価技術に関する最新研究の紹介、技術動向のレビュー、維持管理現場の現状および将来的な課題、ニーズに関する調査を行います。各要素技術と現場のニーズとのマッチングを図り、インフラ溶接構造物の維持管理に関する新しい研究分野の開拓に繋がる情報交換、ネットワーク形成の場とすることを目的としています。

2. 内 容

本研究会では、インフラ構造物における経年劣化（疲労、腐食）や、突発的事象（地震、水害、火災など）による損傷に対し、特に溶接部、接合部（ボルト、リベット、接着）に注目した構造物への影響評価や健全度診断、非破壊検査、補修補強に関する研究、技術動向の調査を行います。産官学の研究者、技術者を交え、インフラ維持管理の課題、ニーズなどの現状について勉強会や討論会、現場見学を通して意見交換します（勉強会、討論会：年4回程度、現場見学：適宜開催）。本研究会の意見交換およびネットワーク形成を通して、技術シーズと現場ニーズをマッチングさせた新しい研究課題の提起を目指します（維持管理評価技術のフィールド適用検証など）。

3. 研究期間

平成29年3月～平成30年2月

4. 組 織

主査：廣畑幹人（名古屋大学 大学院工学研究科）

副査：高嶋康人（大阪大学 接合科学研究所）

幹事：岡野成威（大阪大学 大学院工学研究科）

委員：和泉遊以（滋賀県立大学）、清水優（名古屋大学）、小谷祐樹（川田工業）、
松本直幸（IHI）、岡本亮二（阪神高速道路）、吉田善紀（鉄道総合技術研究所）、
赤井敦嗣（豊田中央研究所）

5. 参加資格

インフラ溶接構造物の維持管理およびその評価技術について関心があり，情報交換に積極的に参加できる方．当該分野における新規テーマ開拓に強い意欲のある方．将来性のある新しい研究分野の開拓を目的とするため，原則として 40 歳未満の若手研究者，技術者（産官学）を対象とします．溶接学会会員，賛助員企業の参加はもとより，他学会に所属する研究者，技術者の参加も歓迎します．

6. 問合せ・申込先

氏名，所属，部署，職名，連絡先（住所，TEL，e-mail），専門分野を記載し，電子メールにて下記までご連絡ください．

廣畑幹人（名古屋大学 大学院工学研究科 准教授）

E-mail: hirohata@civil.nagoya-u.ac.jp

以上